



気仙沼市キャラクター
あかりちゃん

気仙沼市 社協だより

編集
発行

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会

〈公式ホームページ〉 <http://kesenuma-shakyo.jp/>



公式 LINE
はじめました

スマートフォンの
LINEアプリから
「友だち追加」できます。



本 所 ◆ 気仙沼市東新城二丁目1番地2
TEL 0226-22-0709 / FAX 0226-22-4467
E-mail : keshakyo@watch.ocn.ne.jp

唐桑支所 ◆ 気仙沼市唐桑町石浜282番地3(唐桑保健福祉センター「燦さん館」内)
TEL 0226-31-2051 / FAX 0226-31-2052
E-mail : karakuwa-shakyo@ceres.ocn.ne.jp

本吉支所 ◆ 気仙沼市本吉町津谷館岡51番地6
TEL 0226-42-2231 / FAX 0226-42-1241
E-mail : moto-sha@kind.ocn.ne.jp

お茶会から広がる地域のきずな



松岩地区社会福祉協議会では、毎年地区全域を対象とした「お茶会」を開催しています。1年ぶりの再会とあって会話にも花が咲いたほか、地域の老人福祉施設からの参加もあり大盛況でした。

また、今年はお茶会恒例の健康体操を盛り上げるため、協力者によるグループ「にこにこ会2024」が立ち上がるなど、新しい活動も広がっています。





気仙沼市社会福祉協議会 会長退任、就任のご挨拶

齊藤会長の退任に伴い、正副会長の互選を行った結果、次のとおりとなりましたのでお知らせいたします。

会長 村上 俊とし かず 一 (新任)
副会長 小山 謙けん いち 一 (新任)



退任のご挨拶

前会長
齊藤 典夫

平成25年11月から約11年にわたり務めてまいりましたが、令和6年6月26日をもって退任の運びとなりました。これまでの人生において福祉と関わることになるとは想像もしていませんでした。何も分からない状況での就任となりましたが、皆様のお力添えにより地域福祉の推進に大過なく務められたことに、厚く御礼申し上げます。

在任中は、東日本大震災直後の復興支援や新型コロナウイルス感染症等、様々なことを経験

し勉強させていただきましたが、地域の皆様をはじめ各関係機関の方々との出会いがあり、多くのご支援とご協力を賜りまして、改めて人と人とのつながりや助け合いの大切さを感じました。

少子高齢化やICTの進化等、就任当時から時代は大きく変化しており、福祉課題の多様化により社会福祉協議会への期待は今後一層高まるものと思います。

一身上の都合により任期途中で退任となりましたが、気仙沼市の益々の地域福祉推進をご祈念いたしますとともに、これからも引き続き気仙沼市社会福祉協議会の運営に、皆様のご理解とご協力をお願いし申し上げ、退任の挨拶といたします。ありがとうございました。



就任のご挨拶

新会長
村上 俊 一

このたび齊藤典夫前会長の退任に伴い、気仙沼市社会福祉協議会会長の要職に就任いたしました。

前会長におかれましては、東日本大震災直後の復興支援や、新型コロナウイルス感染症の対応等、これまでにない困難な環境の中で、長きにわたり地域福祉の推進に誠心誠意務めてこられましたことに、心から敬意と感謝の意を表します。

後任として、改めましてその職務の重責に身の引き締まる思いではありますが、先代の功績を引き継ぎ、これまでの経験を踏まえまして、本会の円滑な運営と地域福祉の向上に邁進してまいります。

さて、全国的な少子高齢化や人口減少により社会が著しく変化し、担い手不足が大きく問題

視されておりますが、気仙沼市におきましても毎年1000人程の人口が減少し、2045年には高齢化率が50%を超えるとされており、地域での支え合いが難しくなっています。また、感染症の流行や物価高騰等による新たな生活課題が複雑化し、対応がより困難なものとなってきております。

このような中、本会は令和6年度からの第4期気仙沼市社会福祉協議会地域福祉活動計画を策定し、「地域でみんながふれあい支え合って自分らしく安心して暮らせるまちづくり」を基本理念に、「誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる、住民を主体とした共に生きる豊かな地域社会」を目指し、気仙沼市や地域住民の皆様、地区社協等との協働、連携により取り組んでまいります。

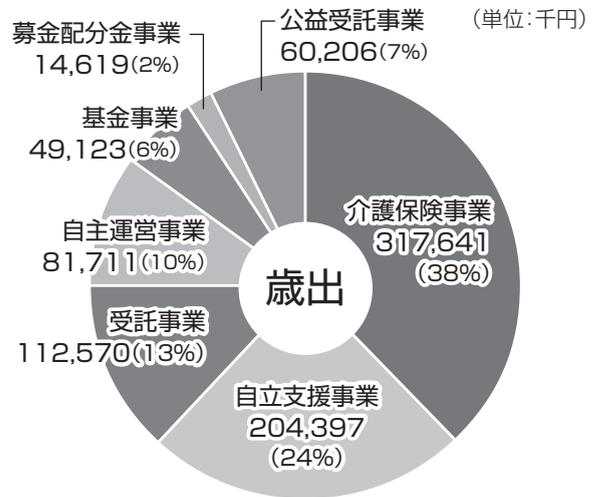
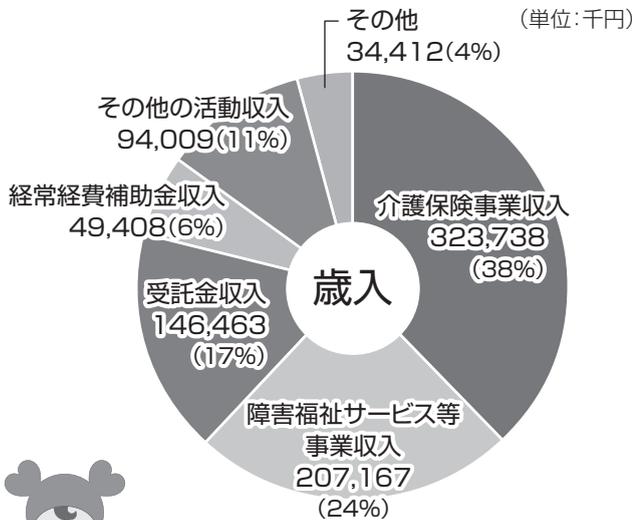
最後に、役職員一同引き続き地域の課題に向き合い、地域福祉を推進する中核的な団体としての責務を果たしてまいりますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、会長就任の挨拶といたします。



令和5年度 決算報告

歳入総額 855,197,483円

歳出総額 840,266,015円



当期資金収支差額(収入-支出) + 前期末払資金残高 = 当期末支払資金残高
 14,931,468円 + 197,059,066円 = 211,990,534円

令和5年度 事業報告 (抜粋)

◆ 法人運営事業

- 理事会、評議員会、監査会の開催

◆ 地域福祉事業

- 地区社協会長会議の開催
- 地域福祉活動計画の推進
- 小地域福祉活動の推進
- 生活相談所の運営
- 社会福祉大会の開催
- ボランティアセンターの運営
- ボランティア講座開催
- 災害ボランティアセンターの準備・運営研修の開催

◆ 資金等貸付事業

- 生活福祉資金等貸付事業

◆ 援護活動事業

- 歳末助け合い募金配分事業
- 交通・海難等遺児に対する就学支援費支給事業

◆ 生活介護・障害福祉事業

- ガイドヘルパー派遣事業
- 視覚に障害がある方へのボランティア講座
- 障害者との交流事業

◆ 在宅福祉事業

- 移送サービス事業
- 安否確認訪問サービス事業

◆ 日常生活自立支援事業 (まもりーぶ)

◆ 指定障害福祉サービス事業



11月2日 eスポーツ体験教室



2月25日 防災ボランティアセンター準備・運営研修

◆ 指定介護保険事業

◆ 市受託事業

◆ 団体事務



1月27日 視覚に障害がある方へのボランティア講座

3

「心配ごと」「困りごと」の相談は…

・ふれあい相談センター【場所・市社会福祉協議会本所】
電話 0226-22-0709(月・火・水・金・9時~15時)でお受けしております。(祝日はお休み)



令和6年度 社協会員加入のお願い



社会福祉協議会の運営と活動は皆さんの会費によって支えられております。会費は社会福祉協議会の貴重な財源となっていることから、今年度の加入についてよろしくお願ひします。

毎年「社協会員（会費）加入のお願い」が来ますが、社協とは、………
どのような団体なのですか？

社協会員と 会費について

社協は、社会福祉法という法律の中で「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」とされています。私たちが暮らしている地域で、普段から皆さんが幸せに暮らすことを応援することが、社協の目的です。

「民間社会福祉団体」ですので、公務員ではありませんが、誰もが安心して暮らせる地域づくりを応援するために、営利を目的としない地域福祉活動等の事業を行っています。そのため、皆さんからいただく「社協会費」は、社協が民間非営利団体として活動を進める上で、無くてはならない貴重な財源となっています。

また、地域福祉活動を推進するには、その地域に住んでいる方々の参画が必要となりますが、市民の皆さまや企業の皆さまに会員となっただき、地域福祉への参画をお願いしています。

ご協力いただいた会費は、気仙沼市社協（法人）の運営費や地域福祉事業のほか、地区社協を通じて各地域で取り組まれる福祉活動の大切な財源として活用されています。



会費の額や種類について …… 会費の種類について おしえてください。



種 類

会費額（年額）

一般会員

（一世帯あたり）300円

自治会・振興会のご協力をいただきながらお願いしています。

賛助会員

（個人1口） 1,000円

本会の趣旨に賛同し、協力いただける個人の方をお願いしています。

特 別

（個人1口） 5,000円

本会の趣旨に特に賛同いただける

賛助会員

（法人1口） 10,000円

法人又は個人の方をお願いしています。

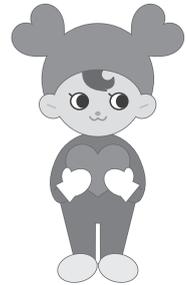


集めた会費は、どのように使われるのですか？ …… 会費のつかいみち

本会の活動は、収益が伴うものではないため、皆様からの会費が貴重な財源となっています。皆様からお寄せいただいた会費は、気仙沼市社協の運営費や自主事業に使われているほか、地区社協の活動など、皆様の身近なところでも活用させていただいております。

会費の主な使い道は、次のとおりです。

- 地区社会福祉協議会への活動費助成
(住民交流事業、介護予防、地域で活動する団体への助成等)
- 高齢者世帯の安否確認訪問サービス事業の実施
- 表彰大会の開催経費
- 法人運営 など



ぜひ、趣旨にご賛同いただき、社協会員にご加入いただきますようお願い申し上げます。

● 令和5年度 特別賛助会員 ●

本会の活動趣旨に賛同し、特別賛助会員としてご加入いただいた方々をご紹介します。ご協力いただき大変ありがとうございました。

特別賛助会費協力団体につきましては、昨年度から会員証をお配りしております。

熊谷光良様
 (有)ヨネキ種苗店様
 (株)マルニ様
 (株)熊勝電気様
 創価学会気仙沼文化会館様
 (株)東北安田様
 地方卸売市場(株)流通市場様
 (株)オーシャンコネクト様
 (株)丸和様
 (株)春夏秋冬様
 (株)クマケー建設様
 (有)大上観光バス様
 補陀寺様
 (株)勝正商店様
 北野神社様
 (株)ミナトタクシー様
 猪狩敏行様
 齋藤徹夫様
 (株)コマツ様
 福洋水産(株)様
 尾形公様
 三日町大通り街路灯維持会様
 笠沼玲子様
 南気仙沼内科医院様

(株)カネダイ様
 (株)ヨコタオートショップ様
 (有)渡辺無線様
 小野寺宏壽事務所様
 (株)エポックメーキング様
 (株)高速気仙沼営業所様
 気仙沼ほてい(株)様
 (株)かわむら様
 (株)加和喜フーズ様
 (有)五十番タクシー様
 (株)あかふさ食品様
 気仙沼鹿折加工協同組合様
 (株)新和エンジンサービス様
 (株)藤喜商店様
 すがとよ酒店様
 (株)気仙沼商会カーランド鹿折SS様
 (株)舟屋様
 ワークマンプラス気仙沼鹿折店様
 小野寺工業(株)様
 福寿水産(株)様
 UR建築設計様
 興福寺様
 浄念寺様
 (有)いこま気仙沼給食センター様

(株)大信ジャンプ鹿折店様
 (有)ヤマセ商事様
 やましち建設(株)様
 小松クリニック様
 東陵高等学校様
 三冷電機工業(株)様
 (株)マルニシ様
 (株)波座物産気仙沼工場様
 理容鹿折軒様
 団平様
 小野寺電気様
 (有)宮北バス様
 小野寺勇事務所様
 サン美容室様
 棚石一級建築設計事務所様
 オールホンダ鈴木様
 ミクロ精工様
 赤帽気仙沼運送様
 (株)鹿折自動車整備工場様
 (株)コマツ樹脂工業様
 気仙沼電機様
 いこま青果様
 理容ワン様
 寿し処大政様

カントリーロード様
 (株)やまじゅう産業様
 宮城県造船鉄工(株)様
 (有)日野屋様
 (株)いがらしはな縁様
 (株)高橋住研様
 (株)内海石油様
 医移川哲仁会三峰病院様
 三陸印刷(株)様
 (株)三陸新報社様
 気仙沼市森林組合様
 (株)坂口組様
 気仙沼清掃事業協業組合様
 菅原自動車(株)様
 (株)追分商店様
 (株)カネモト畠山水産様
 気仙沼窯業(株)様
 (有)熊吉建設様
 気仙沼管工業協同組合様
 (株)丸沖建設様
 (有)光自動車硝子販売気仙沼様
 (有)宮手舗装工業様
 (株)藤田鉄工所様
 みうらボディー様



みんなで進める
地域づくり

地区社協紹介マップ

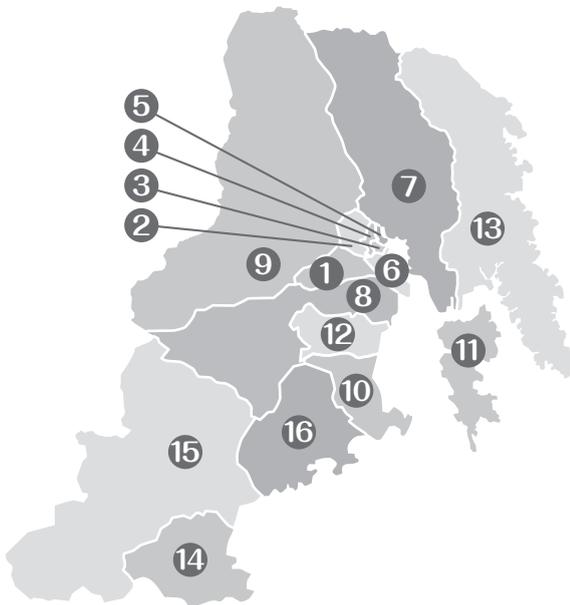
地区社会福祉協議会（略：地区社協）とは、同じ地区で生活する住民同士の多様な「つながり」を基礎にした住民皆さんによる活動組織です。ここでは、個人や地区が抱える課題の発見・共有・解決に向けた取り組みを通じて、身近な地区に安心を広げる活動をしています。

気仙沼市内には概ね中学校区単位に16の地区社協があり、地域の状況に合わせて以下のような活動が展開されています。

ふれ合う	学ぶ	支える	見守る	知らせる	募る
<ul style="list-style-type: none"> ふれあいサロン コミュニティカフェ 交流会 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉講演会 福祉講座 ボランティア育成講座 	<ul style="list-style-type: none"> 地域組織の支援(ボランティアグループなど) 避難行動要支援者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 見守り活動 声かけ運動 	<ul style="list-style-type: none"> 広報、通信の発行 	<ul style="list-style-type: none"> チャリティーショーやバザーの開催

今号では、市内各地区社協会長から各地区の取り組みや今後に向けたメッセージをお届けします。

※令和6年6月20日時点の情報です。



1 西地区社会福祉協議会



小山 太郎 会長

コロナ禍で活動が中止・減少しておりましたが、今後は少しずつ集まりの場を作っていきます。この地域の彩りある想いに寄り添い、笑顔がこぼれる暮らしをつくれるよう頑張ります。地域皆さんのお力添えをよろしくお願いいたします。

2 上地区社会福祉協議会



小山 謙一 会長

健康長寿のカギは「フレイル予防」と考えており、社会参加を促す青空喫茶店や麻雀大会のほか、健康・福祉などテーマ別のセミナーを今年度も実施します。さらに、防災と福祉は一体とも考えていることから、防災に関する事業も行います。

4 魚町地区社会福祉協議会



神山 正志 会長

前任の菊田健蔵さんに代わり会長に選任されました。ここ数年、地区ボランティアクラブが中心となり、住民同士の交流が行われています。今後も、地域のいろんな団体等と連携を図りながら、住民皆さんとともに支え合いの地域づくりを進めます。

3 中央地区社会福祉協議会



尾形 公 会長

前任の齊藤典夫さんに代わり会長に選任されました。聖徳太子の「和を以て貴しと為す」がモットーです。「無理せず、楽しく！」笑顔で気楽に頑張ろうと思っています。地域の皆さんといろんな出会いを楽しみにこれから取り組んで参ります。



6 南地区社会福祉協議会



小泉 則一 会長

3・11で壊滅的に被災した南地区は、再び訪れると言われている災害に対し、日頃の研鑽活動で得た、些細な情報も共有して、安全な避難活動の確立を目指します。日頃からの声かけ運動による高齢者の孤立を無くし、小中学生達の登下校見守りと交通安全の活動も展開していこうと思います。

5 南町柏崎地区社会福祉協議会



大井 憲一 会長

震災後、活動協力者が減少し、思うような活動が出来ない状況が続いています。商店関係者の多い地域ですが、安心して暮らすことが出来る地域を目指します。また、昨年に引き続き「敬老会」(75歳以上対象)を開催する予定ですので、ぜひご参加ください。

8 松岩地区社会福祉協議会



小野寺佐千夫 会長

「地域ぐるみの活動体制整備を進め、みんなで幸せに暮らせる地域社会の実現」に向け、関係団体と意見を出し合い、より連携を深めて参ります。高齢者交流事業のほか、交流支援として音楽を通した身近な範囲の集う機会づくりを地域の皆さんと進めていきます。

7 鹿折地区社会福祉協議会



千葉 和男 会長

3.11の津波被害に加え、コロナ禍もあり、これまで十分な活動が出来ない状況でした。今年度は地域住民の皆さんや事業所・企業様から一層のご理解とご協力をいただきながら、安心して暮らすことが出来る地域を目指して、様々な取り組みをしていきたいと考えています。

10 階上地区社会福祉協議会



畠山 静良 会長

コロナが5類に移行して1年が過ぎましたが、終息したわけではないことから、今後も感染予防に努めながら福祉活動を実施します。引き続き、地域・各団体と手を取り合い、階上地区のつながりづくりを推進します。

9 新月地区社会福祉協議会



吉田 勝彦 会長

数年前から地区内の認知症高齢者を減らすことを目標に掲げて様々な活動を進めています。現在、旧小学校区(新城、月立、落合の3地区)でフレイル予防の地区座談会を開催しています。日常で話す機会が少なくなった昨今ですが、いろんな話題で盛り上がっています。多くの住民皆さんの参加をお待ちしています。

12 面瀬地区社会福祉協議会



内海 勝行 会長

面瀬地区住民総参加のもと、福祉組織の強化を図り、愛と思いやりの満ちた福祉社会を創造していくため、市社協並びに各種団体との連携を密にし、地域住民の生活福祉の向上に努めてまいります。

11 大島地区社会福祉協議会



小野寺 修 会長

国立公園の豊かな環境の中、地域の方々には海に山に、また、スポーツやサークル活動で楽しくいきいきと暮らしています。これまで育まれてきた小さな地域なりの支え合い、いたわり合いの精神を大切にしながら、地区社協として寄り添い支援できればと考えています。

14 小泉地区社会福祉協議会



及川 茂昭 会長

震災では大きな被害がありましたが、現在では、高齢者による集いの場や若者を中心としたまちづくり団体による様々な活動が活発に展開されています。これからも小泉地区の住民によるつながりづくりを一体となって推進していきます。

13 唐桑地区社会福祉協議会



吉田 茂 会長

コロナ禍でも多世代が集う場として「唐桑アート展」を継続開催してきました。地域の活動が徐々に再開していますが、少子高齢化や人口減少による生活課題も多く見受けられます。これからも社会変化に応じた「集まり」を地域の方々と一緒に考え、福祉向上に繋げていきたいと思ひます。

16 大谷地区社会福祉協議会



佐藤 兼一 会長

大谷地区社協は、結成15年を迎えます。ボランティア団体ちどり会と共催して、1人暮らし高齢者へ年2回の食事配達(ぼた餅・かぼちゃ粥)の実施を中心に、福祉団体等と協働し、ふれあいと支えあいによる福祉コミュニティづくりを推進しています。

15 津谷地区社会福祉協議会



佐藤 恵子 会長

地域の生活課題の解決に向けた話し合いや活動に取り組み、ふれ合い支え合いの地域づくりを推進します。地区独自の福祉推進員制度への理解促進と体制の整備を進めるとともに、ミニ社協活動※の支援や各種研修にも力を入れています。 ※より小さい圏域での地域福祉活動のこと。



生活支援体制整備事業

あなたの地域でも支え合い活動をはじめましょう！

顔の見える身近な地域で、不安や悩みを相談できる場所や人がいて、困った時は助けてもらったり、助けてあげたりできる関係をつくるのが「地域支え合い活動」です。自分の特技などを活かして、地域活動を実践しているシニアが市内にはたくさんいます。日々のつながりや交流は、元気で住み良い地域を作ることにつながります。

上
地区

上地区社協「健康セミナー」

上地区社協では、住民の社会参加につながる機会づくりのため、今年度も様々な取り組みを計画しています。その一つとして開催された健康セミナーには地区社協関係者や住民など34名が参加されました。今回は「健康長寿のまちづくり実態調査結果」について市職員からお話をいただき、その後意見交換が行われました。健康に暮らしていくためには、人や社会と関わり続けることが大切ということを改めて確認する場となりました。



南町
柏崎
地区

おとめの会と地区住民合同企画 「旬を味わうかつおの料理教室」

昨年度実施した男の料理教室をきっかけに、おとめの会と地区住民の合同企画として開催しました。



かつて地区にお住いだった元料理人の小山潔さんに協力をいただき、かつおのさばき方などを教わりました。「集うこと・共に作って・共に食べる」ことで栄養の必要性を確認することが出来ました。今後も、地域に暮らす人達の思いを活かした地域づくりを進めます。

鹿折
地区

梶ヶ浦自治美徳会「フレイル予防講座」

梶ヶ浦自治会では、毎月1回ふれあいセンターの清掃を兼ねて集まる機会を設けています。健康につながる運動がしたいとの声があり、フレイル予防講座を行いました。

室内で座ってできるひざ伸ばしや、足上げなどフレイル予防サポーターから学びました。

自宅でも簡単にできる体操なので好評です。今年は地区の目標として、地域ぐるみで楽しく健康増進を目指します。



24時間チャリティ 街頭募金 活動について

毎年、市内の高校生ボランティアから協力をいただいてきましたが、今年度は実施を見合わせることにしました。

なお、気仙沼市内での募金につきましては、イオン気仙沼店、ミニストップ等イオングループ各店で受け付けているほか、本会（本所、唐桑・本吉両支所（平日・日中のみ））でもお預かりいたします。